

# OPINION

先週、日本での研修で学んだブランドづくりの重要性和商品への反映について触れました。

私たちの国ケニアの農産品には、豊かな文化と環境重視の考え方が深く根ざっています。集中的なブランドづくりと戦略的なやりとりを行います。

## ナビゲーター

ば、外国で待つ消費者にも強く響くことでしょう。

研修では、理論と実践を結びつけることの重要性についても学びました。企業・組織への訪問を通じ、また専門家と交流しつつ現実の世界で実際に起きている事例に触れ、学んだことを咀嚼(そしゃく)

# 期待の日本へ 世界各地から

169

# 日本からの学び、品質、規律、顧客目線

し実行可能な戦略にすることができました。この実践的なアプローチにより私たちの行動計画は抽象ではなく、現実を基礎として立てられたものとなりました。

同じくらいインパクトがあったのは、講師の指導です。日本市場の仕組みと商習慣につき、価値ある知見を提供してもらいました。指導を通じて得たものは、意味のある協力関係を築くためには忍耐、一貫性、相互の敬意が必要であることであり、いかなる長期的な国際関係においても通

## ケニア(下)

用する重要な原則でした。

職業上のもの以上に、私個人に長く残る印象を日本は与えています。システムの効率性、日々の生活の中に見える規律、秩序と世間に対する集団的な敬意は、微細な点にいたるまで明白でした。これらの質が、構造と継続的な改善の重要性、ケニアに持ち帰るべき組織と体制の競争力強化の源泉だと言えます。

日本は将来にわたって、品質、革新、持続性について世界的な標準を形作るのに重要な果たす国であり続けるでしょう。

よう。日本が持つ伝統と時代の本で得た知識と経験が、この仕事を進めるための頑丈な基礎となっています。この旅で国際的な協働が重要であるとの私の信念はより強くなりました。JICAの技術移転、市場協力を通じて関わりを深める大きな機会があります。

ケニアに戻ってから、私は現地の関係者との接触を開始し、学んだことがどのように役立つのかを探っています。

ケニアに比べて、私は力のみならず、文化と国の相互理解を育んでいます。私個人のレベルでは、この経験は変化を促す力のあるものでした。視野が広がり、職業人としての能力が向上し、市場システムと輸出戦略の改

本で得た知識と経験が、この仕事を進めるための頑丈な基礎となっています。この旅で国際的な協働が重要であるとの私の信念はより強くなりました。JICAの技術移転、市場協力を通じて関わりを深める大きな機会があります。

善を通じてケニアの発展により深く貢献できるようにになりました。

ケニアが世界市場で一定の地位にあり続ける上で、私は日本から学んだこと、とくに品質、規律、顧客目線が、成功を収めるために、最も重要な役割を果たすことを確信します。ケニアから日本への旅は、まだ終わっていません。むしろ知識を有益な、継続する結果に変える継続的な努力の始まりであると言えます。

【リム中産連、クリス・シンバ・オチエンク】

文中の「品質」に関連し、議論の中で、アボカド収穫作業で歩留まりを落とさないための訓練が必要だと語った姿が印象に残る。

(月曜日に掲載)